

# 十二月のご案内

〒567-0012 茨木市東太田二丁目九三二  
浄土真宗 西福寺  
本願寺派  
TEL075-351155 FAX075-351157

ピンと張りつめた大気が、煌めきをいよいよ鮮やかにして、星かげはあまねく大地を照らします。皆様には如何お過ごしでしょうか。

平成二十八年十二月のご案内を申し上げます。

第二百六十一回

## 人生講座

日時 十二月十一日(日) 昼二時〜四時  
講師 本願寺派布教使



高島 幸博 師

■高島(たかしま)先生、三十五歳。茨木市沢良宜浜、専念寺衆徒。一般家庭に生まれ育ち、龍谷大学仏教学科入学が縁となつて、大学卒業後就職するも、30才の時に得度し僧籍を取得。翌年、専念寺へ入寺。明るくまじめな人柄が、次期住職としてご門徒のみならず宗門の期待を集めています。

■お誘いあわせの上、ごぞつてお参り下さい。

## ●本山成人式のご案内

新成人の皆さん、おめでとうございます。

本願寺では、1月15日(日)に皆さんが新成人となられたご縁として、親鸞聖人のみ教えに出遭っていただきたいとの願いのもと、「本山成人式」を開催いたします。

●日 時：2017年1月15日(日)

●会 場：本願寺阿弥陀堂(京都市下京区堀川通花屋町下ル)

●参加対象：1996年4月2日から1997年4月1日までの間に生まれた新成人の方

●参加費：無料(※帰敬式受式希望者は冥加金3,000円が必要です)

●応募方法：所定の申込用紙に必要事項を明記の上、寺院活動支援部へ組織教化担当内「本山成人式」係までお申し込みください。(電話 075-371-5181・FAX 075-351-1211)

●募集締切：2016年12月20日(火)

## 年末年始のお参りについて

誠に勝手ながら左記の通り、年末年始は、お逮夜参りをお休みいたします。

この期間内に月命日を迎えられる方は、12月30日までのご都合の良い日をご連絡いただければ、お伺いいたします。もしくは、来年1月1日昼一時より勤まる元旦会にご参拝下さい。何卒、ご理解とご協力のほど、よろしくお願い申し上げます。

年内：12月30日(金)まで  
新年：1月5日(木)から

\*葬儀など緊急の際は、ご遠慮なく  
まずお寺までご連絡下さい。

TEL 072-6222-3725

伝燈奉告法要団体参拝 平成29年4月28日

## 正信偈のつづき ⑭

◆惑染凡夫信心発 証知生死即涅槃  
必至無量光明土 諸有衆生皆普化

【意訳】まどえる身にも信あらば 生死のままに 涅槃あり

ひかりの国にいたりては あまたの人を 救うべし

一念の信心が起るとき、どのような煩惱に煩わされようとも、阿弥陀仏の不可思議なる法によって、迷いの境涯がそのまま成仏道へと転ぜられる。

親鸞聖人は、阿弥陀仏の浄土を「仏はこれ不可思議光、土はまた無量光明土なり」と定義された。この地に至れば、ふたたび娑婆に立ち戻り、あらゆる凡夫を教化し、済度していく。

◆道綽決聖道難証 唯明浄土可通入

万善自力賤勤修 円満徳号勸専称

【意訳】道綽禅師 あきらかに 聖道浄土の 門わから

自力の善をおとしめて 他力の行をすすめつ、

道綽禅師は初め涅槃宗の学者であった。曇鸞大師滅後のお出ましで、直接取り立てられ学ばれることはなかった。ある時、玄中寺で曇鸞大師の碑文を読み、深く感じ入り浄土門に入られた。このような経緯によって曇鸞大師の弟子とされている。以降、涅槃経を講ずることなく、浄土の教えを広められた。すなわち、聖道門は難行である。浄土門は易行であるから、末法の時代に生きる凡夫は、浄土の一門に通入すべきであると勧められた。

万善は自力の行であるから、末法時代を生きる凡夫には修行すれども成就しがたい。円満なる徳号である阿弥陀仏の名号は、本願他力の行であるから、末法時代を生きる凡夫にふさわしい。